



45-1 三峰窯 渦茶碗

加藤土師萌 昭和26年(1951) 陶磁 径11.0、高7.0

昭和31年7月29日 加藤土師萌より轆轤の指導を受けられる殿下

45-3 三峰窯 瑠璃釉陶硯

加藤土師萌 昭和40年(1965) 陶磁 10.1×9.0×2.0

45-2 三峰窯 鉄絵貝香合

加藤土師萌 昭和38年(1963) 陶磁 5.5×5.8×3.3

加藤土師萌(1900～68)は三峰窯の築窯を行っただけでなく、秩父宮雍仁親王の作陶指導も担当した。雍仁親王の薨去後、陶づくりの会に集った方々にも引き続いて指導を行い、そのかわり、自らも小品を残している。45-1の茶碗は雍仁親王から殿下へ贈られたもので、初窯のときの作品である。45-2、3の香合と硯は、加藤から妃殿下への献上品である。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

若梅に撫子——旧高松宮家と伝来の品々

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 62

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成二十五年三月二十六日発行

© 2013, The Museum of the Imperial Collections